

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 409 号	氏名	前田 一
学位審査委員	主 査	河野 功	
	副 査	尾野村 治	
	副 査	田中 正一	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、長崎県の未利用森林資源を活用するための新たな用途開発に向けた機能性物質の探索を行ったもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 長崎県の森林資源から 136 サンプルを収集し、そのポリフェノール成分についてスクリーニングを行い、これまで未精査であったノグルミ、ゴンズイ、ヤマハゼおよびイヌマキの成分について単離・構造決定するとともに、長崎県の主要産業の一つであるシイタケ栽培に用いる樹種とシイタケの含有成分についての検討を行ったもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ポリフェノール成分を多く含有する種や組織について評価し、ノグルミ、ゴンズイ、ヤマハゼおよびイヌマキの成分について明らかにし、それらの活用方法について考察している。シイタケの含有成分については、新たな単離・定量法を開発するとともに、栽培樹種とシイタケの含有成分について樹種間差を明らかにした。これらの成果は未利用の森林資源の新たな活用を期待できるものであった。</p> <p>以上のように本論文は薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			

記入例

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 号	氏名	
学位審査委員	主 査	副 査	副 査
			㊦
			㊦
			㊦
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、従来異論があった精神分裂病における遺伝的表現促進現象の有無に決着をつけようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 この種の研究成果を左右すると考えられる種々の標本選択バイアスを可能な限り除外するようにデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、種々の標本選択バイアスを可能な限り小さくしても、精神分裂病において遺伝的表現促進現象がみられることを明らかにし、今後の分子遺伝学的研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は〇〇〇〇研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（〇〇）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと